

岡崎市提案概要：リアル空間 & 仮想空間の回遊促進事業

■ 全体概要

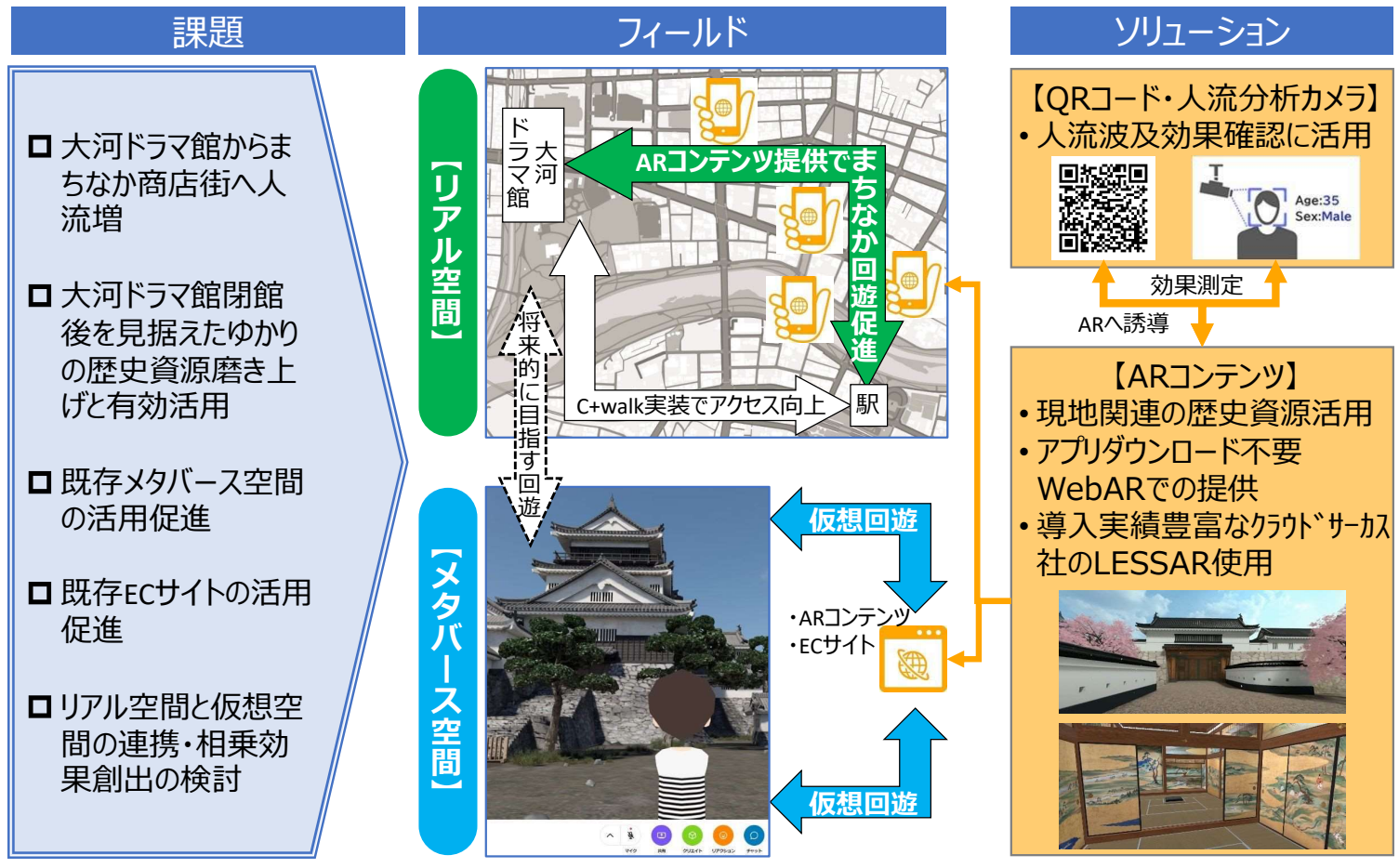
- 大河ドラマ館の効果最大化に向け、歴史観光コンテンツのDX化と「AR」コンテンツを活用し、観光客のまちなか波及を図る。
- ARへ誘導するQRコードや既存常設の人流カメラ（主要回遊動線21台設置）により、まちなかへの人流波及効果を測定
- リアル空間でのまちなか回遊に加え、整備済みメタバー空間での回遊を促進するため、双方で「AR」コンテンツを活用

■ 本事業概要

- R4愛知県スマートシティモデル事業を経てR5実装したC+walkにより、「駅→ドラマ館」のアクセスが向上した。
- 本事業では「ドラマ館→まちなか」の人流波及策として、まちなか各所で歴史コンテンツをAR提供し回遊を促進
- QRコード利用履歴や人流分析カメラのローデータ分析により、まちなかへの人流波及効果を測定
- 併せて、整備済みのメタバー空間でも同様のARや既存ECサイトを活用し、仮想空間での回遊を促進する。

■ 推進体制

- 岡崎スマートコミュニティ推進協議会
- ・岡崎市 デジタル推進課
企画課
「どうする家康」活用推進課
- ・一旗
- ・NTT西日本
その他協力：NHKサービスセンター



■ スケジュール

R4	メタバー空間構築 ECサイト構築
R5	8月～10月 歴史コンテンツ抽出 現場調整・動作確認 11月～12月 実証実験 1月～2月 効果検証・報告書作成
R6	実装課題整理・対応
R7～	一部実装・実装拡大

※R5効果検証やR6実装課題整理にあたっては既存常設の人流分析カメラ等スマート機器を活用